

おかしん「食農技術科学講座セミナー」

最先端 施設園芸としての植物工場の現状と展望

講師

さいぐさ まさひこ
三枝 正彦 先生

豊橋技術科学大学先端農業バイオリサーチセンター特任教授、東北大学名誉教授
元日本土壌肥料学会会長
第19期日本学術会議会員・現連携会員
昭和18年 静岡県韮山町(現、伊豆の国市)生まれ
昭和41年 東北大学農学研究科博士課程終了
平成5年10月:東北大学農学研究科教授
平成19年:豊橋技術科学大学先端農業バイオリサーチセンター特任教授



申込

参加申込書にご記入のうえ、お近くの岡崎信用金庫の窓口へお申込ください。

(申込期限:23年10月7日・金)

受講証は発行いたしません。定員を超え、聴講できない場合はご連絡いたします。

会場

岡崎信用金庫 本部ビル 8階 ※ビル南側通用口へお越しください
(本店営業部階上)

講座日時

全6回 講座の概略を裏面に記載しております。裏面もご参照ください

第1回	10月19日(水)	18:30~20:00	愛知の農業の現状と施設園芸
第2回	11月24日(木)	18:30~20:00	植物工場とは?
第3回	12月14日(水)	18:30~20:00	オランダ国における最先端施設園芸
第4回	1月18日(水)	18:30~20:00	植物工場における資源作物の特徴と栽培法
第5回	2月15日(水)	18:30~20:00	植物工場と農商工連携、6次産業化
第6回	3月14日(水) 予定	スケジュール未定(別途ご連絡いたします)	渥美における太陽光型植物工場現地調査

キリトリ

最先端 施設園芸としての植物工場の現状と展望 参加申込書

(取扱店)

支店

聴講者名		電話番号	
住所		業種	

御記入いただいた個人情報は、当金庫の個人情報の取扱について「に従って適切に取り扱います。詳しくは当金庫ホームページをご参照ください。
ご記入いただいた個人情報は、当金庫主催の同種の講演会やセミナーのご案内に利用させていただくことがあります。

営業統括部
顧客サービス課行

FAX内線6400

FAX 0564-22-3944

講座の概略

「最先端 施設園芸としての植物工場の現状と展望」全6回

農業は気象、土壌、共存生物などの多くの環境要因に左右され、農産物の生産時期、生産量、品質が不安定で、ビジネスとして困難を伴う場合が多い。これら変動要因を制御し、安全、安心、安定な農業生産方式として、最先端施設園芸、植物工場が注目されている。本講座では愛知県農業の現状を考えながら、植物工場の現状と今後展望を考えてみたい。

第1回 10月19日(水) 愛知の農業の現状と施設園芸

愛知県（豊橋市）は施設園芸発祥の地であり、わが国有数の園芸農業地帯であるが、他の地域と同様に、高齢化、後継者不足などが問題となっている。ここでは本地域の農業の現状と今後の方向性でもある施設園芸について概観する。

第2回 11月24日(木) 植物工場とは？

最先端施設園芸としての植物工場について解説するとともに、人工光型植物工場と太陽光利用型植物工場の、特徴と利点、問題点について述べる。

第3回 12月14日(水) オランダ国における最先端施設園芸

世界一の農産物輸出国であるオランダ国の最先端施設園芸の現状と問題点をわが国施設園芸と比較しながら述べる。

第4回 1月18日(水) 植物工場における資源作物の特徴と栽培法

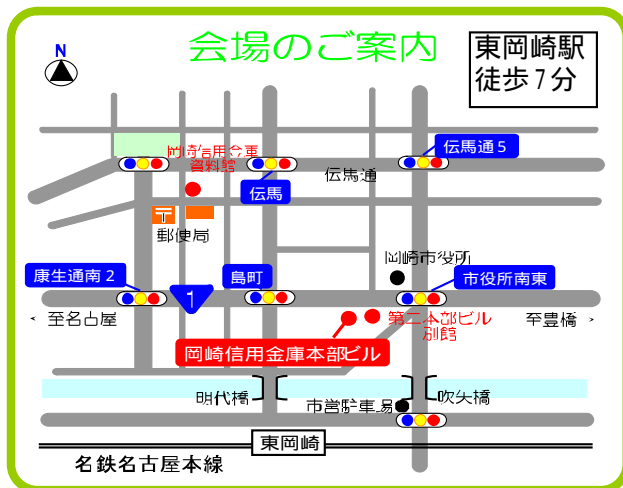
植物工場はコスト的にも、物理的にも制限があり、導入する作物の選択が難しい。有望と思われる植物の特徴と栽培法を概説する。

第5回 2月15日(水) 植物工場と農商工連携、6次産業化

1次産業としての農業は厳しく、生産のみならず、加工流通、販売をも手掛ける農商工連携、6次産業化が推進されている。農商工連携の代表としての植物工場のあり方と今後の展望を模索する。

第6回 3月14日(水) (予定) 渥美における太陽光型植物工場現地調査

日本一農業地帯の渥美におけるトマト50tどり、を目指す太陽光型植物工場と低炭素施設園芸のモデル施設としての菊の太陽光利用型植物工場を視察し、今後の農業の方向性を検討する。



岡崎信用金庫 本部ビル8階

(本店営業部階上)

岡崎市菅生町字元菅41番地

ビル南側通用口へお越しください。
(夜間のため正面玄関から入場できません。ご了承ください)

駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

講座に関するお問い合わせ
岡崎信用金庫営業統括部顧客サービス課
TEL 0564-25-7213
FAX 0564-22-3944